

資料 1

今後の会議で議論していきたい内容

1

- (1) 自然および歴史を都市のインフラストラクチャーとして考えること
- (2) 楽しく歩ける歩行者路ネットワークを整備する
- (3) 使いやすいバス交通システムをつくる
- (4) 公共サービスの一部をNPOの事業とすることを可能にする
- (5) 施策の継続的な評価システムをつくる

2

- (1) 川崎市政の位置づけ
- (2) 職場の整備
- (3) 小・中学校の活用

3

- (1) 都市農業問題
- (2) 都市計画道路の見直し

4

1 「人」に関わる議論

- (1) 少子化に伴う女性の目線に合う環境づくり
- (2) 家庭内の非の部分で社会で解決・支援する方法を模索
- (3) 子どもを取り巻く環境の検討
- (4) 国際化・IT化に
- (5) 地方分権を進める
- (6) 社会的な弱者の人権を考える

2 「環境」に関わる議論

- (1) 環境のため、条例化による規制は可能か、又は市民による啓発運動はどこまでできるか、などを項目別に検討・議論
- (2) 全般的な街づくりの形態について検討・議論
- (3) 防災時、地域でできるネットワークを検討

6

- (1) 武蔵小杉に新幹線と横須賀線の停車駅をつくり、南武線、東横線との連結による川崎の高機能化
- (2) 市民アカデミーの社会的効果は中高年の健康に寄与する
- (3) 多摩川河畔に揚水によるせせらぎ流水公園をつくる

7

- (1) 住みたい街とは
- (2) 新しい産業起こしへの環境づくり
- (3) 交通問題の改善

8

1 子育て・子どもに関わる施策

- (1) 市民館の乳幼児学級
- (2) 子どもに関する情報の一本化
- (3) 子ども関係の部署間の情報交換と連携
- (4) わくわくプラザ
- (5) こども文化センター
- (6) 子育て支援センター・子育て広場の利用・運営
- (7) 都市化・情報化の進展と子どもへの影響
- (8) 子どもの虐待・放棄への対応
- (9) 親の心のケア
- (10) 学童期からの乳児とのふれあい

2 市民活動・市民参画に関わる施策

- (1) 市民活性についてのコスト意識
- (2) 各委員会・会合・イベントの際の保育室設置

9

- (1) 自然と調和し、川崎独自の歴史と文化を基にした都市計画
- (2) 公共サービスが市民の力で支えられるまちづくり
- (3) 少子・高齢化社会を迎える中でスローなライフスタイルの提案